

# 子どもと関わる人・ボランティア向け学習会 『なぜ読書環境の整備が必要なのか？』

子どもたちの読書環境改善を目的に、学習会を開催します。本講座は、主に、学校運営協議会委員の方、市内の教育・保育に関わっている方、地域学校協働本部に所属している方、地域で見守りボランティアなど子どもたちと普段から接している方を対象としていますが、お店などで本棚を置いている方、お年寄りの読書の推進に関わる方などもご参加いただけます。一緒に、小さな「自分たちにできること」を探してみませんか？

とき 2022 年 6 月 23 日 (木)

午後 6 時 30 分～8 時



ところ 拠点複合施設 **りすた**

・多目的ホール

講師 **荒井 宏明 氏**

一般社団法人  
北海道ブックシェアリング代表理事  
札幌大谷大学社会学部  
/ 東海大学現代教養センター 非常勤講師  
北海道子ども読書活動推進会議委員



## 講師による講座の内容

日本では、PISA（15歳の生徒が持つ学習到達度に関する3年毎の調査）において、「読解力」が4位→8位→15位と急下降しています。同調査では「学校でコンピュータを閲覧する時間が長いほど、読解力の成績は下がる」とする一方で「読書を肯定的にとらえる生徒ほど読解力の得点が高い傾向にある」としています。

知識基盤社会を迎えた現在、EUをはじめとする各国が「読書環境の整備」に力を入れる一方、わが国においては公共図書館も学校図書館も自治体任せになっており、とくに道内の学校図書館における著しい格差は公平な学びの機会を謳う「教育基本法」に明らかに反している状況です。本講座では「読書環境の整備」の意義と手法について、わかりやすく解説します！

受講料 無料

定員 30名（必ず申し込みが必要です。）

申込 6月3日（金）～21日（火）

「氏名・連絡先・年齢」をお伝えください。

申込先 市社会教育係 ☎ 57-7711



主催 夕張市教育委員会